

◎ 訂正とお詫び ◎

本誌、第50巻第3号(2020年3月発行)の下記箇所に誤りがありました。訂正し、お詫び致します。

『糖尿病・内分泌代謝科』編集部

・ p. 176 本文 左段4～7行目

(誤) そのキー分子がアンジオテンシン II (Ang II) であり、の大部分は7回膜貫通型のG蛋白質共役型受容体(G protein-coupled receptor ; GPCR)ファミリーに属するタイプ1(AT1)受容体を介している。

(正) そのキー分子がアンジオテンシン II (Ang II) であり、その大部分は7回膜貫通型のG蛋白質共役型受容体(G protein-coupled receptor ; GPCR)ファミリーに属するタイプ1(AT1)受容体を介している。

・ p. 176 最下部 脚注

(誤) Chizuru YABUMOTO, M.D., Ph.D.

(正) Chizuru YABUMOTO, Ph.D.